

## 道徳 評価の視点 【3年】

教材名	三年生のどうとくの学習が始まるよ どうとくではこんな学習をするよ
ねらい	教材に示された文章をもとに、友達と考えを交流する活動をとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもたせる。
評価の視点	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。

教材名	あなたならできる 「自分でできることを増やそう」
ねらい	はるかが忘れ物をなくすことができた理由について話し合うことをとおして、自分でできることを考えて行動することのよさや難しさに対する考えを深め、自分でできることは自分でしようとする判断力を育てる。
評価の視点	忘れ物に対する他者の考え方にふれ、自分でできることを考えて行動することのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 主体性のある行動の大切さを理解し、自分から生活を整えて自律することについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	おそろしいゲームいぞん 「節度のある生活」
ねらい	ともあきが生活を整えることができた理由について話し合うことをとおして、自分の生活を整えることのよさや難しさに対する考えを深め、安全に気をつけ、節度のある生活をしようとする心情を育てる。
評価の視点	規則正しい生活に対する他者の考え方にふれ、自分の生活を整えることのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分の生活を振り返り、自分から生活を整えて、自律していこうとすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	ロバを売りに行く親子 「自分で考えて」
ねらい	親子の行動について話し合うことをとおして、自分自身でよく考えて行動することの大切さに気づき、よく考えて行動しようとする判断力を育てる。
評価の視点	自分の行動に対する他者の考え方にふれ、他の人から言われるのではなく自分自身でよく考えて行動することの難しさやよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分の考えをしっかりともち、自分からすすんで行動することの大切さを理解し、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	貝がら 「友達の事情」
ねらい	「ぼく」と中山君の関係について話し合うことをとおして、友達のよさを発見し理解することのよさに気づき、友達と理解し合い、仲よくしようとする心情を育てる。
評価の視点	友達のよさに対する他者の考え方にふれ、友達のよさを発見し理解することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 友達と理解し合い仲よくすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	たつきゅうは四人まで 「友達とよりよい関係を築くには」
ねらい	しゅんのしたことの問題点について話し合うことをとおして、友達を大切にすることのよさに気づき、友達とよりよい関係を築こうとする心情を育てる。
評価の視点	友達を大切にすることに対する他者の考え方にふれ、友達と互いに理解し合い、友達を大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 友達とよりよい関係をつくることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	気づく心 「困っている人のことを考えて」
ねらい	あつしがすがすがしい気持ちになったわけについて話し合うことをとおして、困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づき、思いやりのある行動をしようとする心情を育てる。
評価の視点	親切や思いやりに対する他者の考えにふれ、困っている相手に気づき、相手の気持ちを自分のこととして想像することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 親切の大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	わたしたちの「わ」 「困っている人の気持ち」
ねらい	「わたし」の見守る行為について体験的に学ぶことをとおして、「わたし」とひろみさんの気持ちを理解し、相手の状況や気持ちを考えて行動しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	親切にすることについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 相手のことを考えた行動について理解を深め、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ベランダのツバメ 「自然に親しんで」
ねらい	ツバメに対するなおみたちの思いや行動について話し合うことをとおして、動物を大切にすることのよさに対する考えを深め、身近にある自然や動植物をいとおしみ大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。

評価の視点	<p>自然に対する他者の考え方にふれ、自然やその中に生きる動植物を大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>自分たちを取り巻く自然環境を大切にしたり、動植物を愛護したりすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>
-------	---

教材名	えがおいっぱい 「楽しい学級や学校をつくろう」
ねらい	あおいのクラスの「えがおいっぱいせんげん」について話し合うことをとおして、笑顔がいっぱいの学級のよさに気づき、みんなで協力し合って楽しい学級をつくろうとする心情を育てる。
評価の視点	<p>楽しい学級に対する他者の考え方にふれ、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくっていくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>楽しい学級や学校をみんなで協力し合ってつくっていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	わたしの妹、かな 「家族みんなで協力し合おう」
ねらい	妹のかなに対するゆいの思いの変化について話し合うことをとおして、家族で支え合うことのよさに気づき、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	<p>妹や弟に対する他者の考え方にふれ、家族を大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>父母や祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	エイサーの心 「ふるさとの伝統と文化を大切に」
ねらい	エイサーをかつこよく踊るために大切なことについて話し合うことをとおして、郷土の伝統や文化に親しむことのよさに気づき、郷土の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>ふるさとの伝統や文化に対する他者の考えにふれ、郷土の伝統や文化を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>郷土を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	わたしの見たニッポン 「私たちの国の伝統と文化を大切に」
ねらい	日本の伝統や文化のよいところについて話し合うことをとおして、日本の伝統や文化のよさに対する考えを深め、日本の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>日本の伝統や文化に対する他者の考え方にふれ、日本の伝統や文化のよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>日本の伝統や文化を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	三本のかさ 「誰に対しても真心をもって」
ねらい	三人の傘の返し方について話し合うことをとおして、人との関わり方に対する考えを深め、真心をもって人と接しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	礼儀正しい行為に対する他者の考え方にふれ、相手の立場やその場の状況に応じた真心の伝え方について、多面的・多角的に考えることができるか。 礼儀の大切さを理解し、相手の立場やその場の状況に応じたふるまいについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	どうしていけないのかな 「真心をもって」
ねらい	まなみさんの行動について体験的に学ぶことをとおして、相手の立場や気持ちに応じて接することの大切さに気づき、丁寧な言葉づかいで真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	丁寧な言葉づかいで周りの人に接することの大切さについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 丁寧な言葉づかいで、真心をこめて接することについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ぼくらしさってなんだろう 「自分のよさを知ろう」
ねらい	自分では気づかなかった自分らしさについて話し合うことをとおして、自分らしさを見つけ伸ばしていくことのよさに気づき、自分のよさをさらに伸ばそうとする心情を育てる。
評価の視点	「自分らしさ」に対する他者の考えにふれ、「自分らしさ」を大切にしていこうということについて、多面的・多角的に考えることができるか。 「自分らしさ」を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	自分をコントロール 「正しいと思ったことは自信をもって」
ねらい	としみちの考えと行動について話し合うことをとおして、正しいと思ったことを実行することのよさや難しさに対する考えを深め、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。
評価の視点	正しい行動に対する他者の考え方にふれ、正しいと思ったことを実行することのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 正しいと思ったことをするために大切なことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	よわむし太郎 「正しいと思ったことを行うために」
ねらい	よわむし太郎の考えと行動について話し合うことをとおして、正しくないと考えられることをしている人を止めることの大切さに気づき、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。

評価の視点	<p>勇気ある行動に対する他者の考え方にふれ、正しいと思ったことを行うことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>正しいと思ったことをすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>
-------	--

教材名	悪いのはわたしじゃない 「分け隔てをせず、公正、公平に」
ねらい	<p>なおたちがれなにしたことの問題点について話し合うことをとおして、不公平な態度で周囲に接することがいじめにつながることに気づき、誰に対しても分け隔てをしないで公正・公平な態度で接しようとする心情を育てる。</p>
評価の視点	<p>いじめに対する他者の考え方にふれ、いじめをなくすことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>いじめを防ぐために大切なことについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	ドッジボール大会 「男女で分け隔てはせずに」
ねらい	<p>しゅうへいのしたことの問題点について話し合うことをとおして、偏見をもたないことの大切さに気づき、誰に対しても分け隔てをしないで公正・公平な態度で接しようとする心情を育てる。</p>
評価の視点	<p>勝手に決めつけてしまうことに対する他者の考え方にふれ、偏見をなくす強さ、公正・公平に接することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>誰に対しても偏見をもたずに公正・公平に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	楽しめばすきになる 「努力は楽しんで」
ねらい	<p>漢字練習に対するこうたについて話し合うことをとおして、苦手なことも楽しんで取り組むことのよさに気づき、目標に向かってやりぬこうとする心情を育てる。</p>
評価の視点	<p>自分でやろうと決めたことに対する他者の考え方にふれ、苦手なことも楽しんで取り組むことのよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>目標をもって努力し続けることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	世の中のために——西郷隆盛—— 「諦めない心をもって」
ねらい	<p>子どもの頃の隆盛の行動や考えについて話し合うことをとおして、強い意志をもってやりぬくことのよさに気づき、目標に向かってやりぬこうとする心情を育てる。</p>
評価の視点	<p>自分の夢や目標に対する他者の考え方にふれ、自分の決めた目標に向かって強い意志をもって、粘り強くやり遂げることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>自分の夢や目標を達成するために強い意志をもって粘り強くやり遂げることについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	花さき山 「美しい心」
ねらい	花さき山に花を咲かせたあやの心について話し合うことをとおして、美しい心に対する考えを深め、美しいものに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	美しいものに対する他者の考え方にふれ、美しいものに感動する気持ちについて、多面的・多角的に考えることができるか。 美しいものに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ヒキガエルとロバ 「命あるものを大切に」
ねらい	ロバがしたことの良いところについて話し合うことをとおして、命の尊さに対する考えを深め、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	「生命の尊さ」に対する他者の考え方にふれ、生命を大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 生命の大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	光祐くんのアサガオ 「命を受け継いで」
ねらい	光祐くんの生き方やお母さんの思いについて話し合うことをとおして、一生懸命に生きることのすばらしさに気づき、命を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	「生命の尊さ」に対する他者の考え方にふれ、生命が尊いものであることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 「生命の尊さ」を理解し、かけがえのない自他の生命について、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	新聞係 「きまりを守ることの意味」
ねらい	新聞作りのルールについて話し合うことをとおして、きまりを守ることの大切さに対する考えを深め、きまりを大切にしようとする判断力を育てる。
評価の視点	きまりを守ることにに対する他者の考え方にふれ、きまりを守ることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	今度はぼくの番かな 「お互いの考えを大切に」
ねらい	りょうとかずやさんの心のパスについて話し合うことをとおして、自分の考えを伝えることや相手の意見に耳を傾け尊重することの大切さに気づき、相手を理解しようとする実践意欲と態度を育てる。

評価の視点	<p>自分と異なる意見に対する他者の考え方にふれ、相手のことを理解し、自分と異なる意見も尊重することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>望ましい人間関係を構築することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>
-------	---

教材名	まどガラスと魚 「かくさずに正直に」
ねらい	健一の気持ちや行動について話し合うことをとおして、正直に行動することのよさに対する考えを深め、過ちは認め、正直に明るい心で生活しようとする心情を育てる。
評価の視点	健一の気持ちや行動について話し合うことをとおして、正直に行動することのよさに対する考えを深め、過ちは認め、正直に明るい心で生活しようとする心情を育てる。

教材名	ぴっかぴか 「すすんでみんなのために働こう」
ねらい	「わたし」が変わったわけについて話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、自分でできる仕事を見つけて、すすんでみんなのために働こうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	<p>人のために働くことに対する他者の考え方にふれ、すすんでみんなのために働くことのよさを理解し、みんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>働くことの意義を理解し、積極的に働くことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	いつかオーストラリアへ 「世界の人々や文化に親しんで」
ねらい	たけるとダニエルが仲よくなれたわけについて話し合うことをとおして、日本と他国に違いがあることに気づき、他国の人々や文化への理解を深めようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>他国の人々や文化に対する他者の考え方にふれ、他国の人々や文化に親しんで関心をもつことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>他国の人々と手を取り合い、心をつないでいくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

教材名	公園のひみつ 「支えてくれる人へのありがとうの気持ち」
ねらい	おじいちゃんへの「わたし」の感謝の気持ちについて話し合うことをとおして、高齢者など身近な人々が生活を支えてくれていることに気づき、尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。

評価の視点	<p>自分たちの生活を支えてくれている人たちに対する他者の考え方にふれ、自分たちの生活を支えてくれている高齢者などさまざまな人たちへの感謝の気持ちについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>自分たちの生活を支えてくれている高齢者などに尊敬と感謝の気持ちをもって接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>
-------	---

教材名	時を計り、時を生かす 「時間を大切に」
ねらい	時間を大切にすることについて話し合うことをとおして、時間を大切にし、自律した生活を送ることのよさに気づき、自律した生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	<p>時間を大切にすることに対する他者の考え方にふれ、時間を大切にしながら主体的に行動することのよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>時間を大切にしながら主体的に行動することのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	昔からの味をつたえる野菜 「文化を伝える」
ねらい	伝統野菜を守る取り組みについて話し合うことをとおして、地域の伝統や文化を守り伝えていくことの大切さに気づき、地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>地域の伝統や文化を守り伝えていくことに対する他者の考え方にふれ、郷土の伝統や文化を大切にし、先人の努力を引き継ぐことの意義について、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>郷土の伝統や文化を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	お祭りにこめられている思い 「ふるさとのお祭りを大切に」
ねらい	二つのお祭りにこめられている思いについて考えさせることをとおして、地域で大切にされている行事のよさに気づき、地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>お祭りに対する他者の考え方にふれ、郷土の伝統や文化を大切にし、伝えていきたいという人々の願いについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>地域の一員であることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	音のこうずい 「きまりを大切に」
ねらい	電車でのマナーについて話し合うことをとおして、社会のきまりの意義に対する考えを深め、きまりを守って生活しようとする実践意欲と態度を育てる。

評価の視点	<p>社会のきまりなどに対する他者の考え方にふれ、人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>
-------	---

教材名	心のこもった給食 「ありがとうの気持ち」
ねらい	宇佐美さんの思いについて話し合うことをとおして、自分の生活がいろいろな人々に支えられていることに気づき、感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>自分たちの生活を支えてくれていることに対する他者の考え方にふれ、日常生活において他者が自分のためにしてくれていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>他者に感謝することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>